

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
伊藤 1	148	3.1.4	注釈 1	te	「工学的システムは…モデルを開発する…」とあるが、開発した結果としてのモデルを実行するのが AI システムであって、AI システムがモデルを開発するわけではないのではないか。	注釈 1 を下記のように修正する。 工学的システムは、作業 (3.1.35) の実施に使用可能であるデータ、知識 (3.1.21) , プロセスなどを表すモデル (3.1.23) を開発するための、人工知能 (3.1.3) に関連する様々な技法及びアプローチを使用することが可能である。	修正なしとします。理由は次のとおりです。 ご指摘の内容は、[to develop a model]で示される節を artificial intelligence (3.1.3)を修飾する従属節としてとらえてのコメントです。確かに、目的を示す従属節と解釈すると、頂いた訳になります。 しかし、委員会では、これを、時系列を示す並列節と解釈しました。 なお、model のあとの to は、従属節と捉えました。 このため、原案が正しいと理解しております。
石井 1	154 204 732 1083 1605 1606 1607 169			ge	「オーバーサイト」を「監視」のような日本語とせず、片仮名とする理由は何か？		現状、oversight は supervision (監督) に対して、業務全体など規模が大ききなものを対象としており、適切な日本語がありません。このため、この規格では“オーバーサイト”としました。 将来、日本語として適切な用語を充てる必要があるとの認識で委員会は一致しています。 なお、以上の内容は解説に記載します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
伊藤 2	190	3.1.13	定義	te	「…を蓄積し、組み合わせ、カプセル化する AI システム」とあるが、蓄積・組合せ・カプセル化は手段であって、システムの定義としては不適切ではないか。	定義を下記のように修正する。 特定の領域における人間の専門家から提供された知識 (3.1.21) を蓄積し、組み合わせ、カプセル化することにより、問題の解決策を推論する (infer) AI システム	目的を「問題の解決策を推論するために」と示し、その手段として「特定の領域における人間の専門家から提供された知識を蓄積し、組み合わせ、カプセル化する」と表現しており、ご指摘は必ずしも当たらないと思います。 しかし、コメントを頂いた事実を重く受け止め、誤解を生む可能性は否定できないと考えますので、次のように修正します。 「特定の領域における人間の専門家から提供された知識 (3.1.21) を蓄積し、組み合わせ、カプセル化することによって、問題の解決策を推論する (infer) AI システム」(「より」を「よって」に変更したほかは、修正案どおりです)。
伊藤 3	194	3.1.14	定義	ed	定義が「タイプ」で終わっているが、「定義は、文脈上、用語に置換できる形式で記述されなければならない」という Directives の指示に適合しないのではないか。	定義を下記のように修正する。 広範な作業 (3.1.35) に、満足のいくレベルの性能で対応する タイプの AI システム (3.1.4)	修正なしとします。理由は次のとおりです。 まず、Directives の指示に適合していないというご指摘ですが、AGI も type も noun で文法的には入れ替え可能です。かつ、type of (something) は、something の一つという意味で、AI システムの一つを指すため、

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							意味的にも入れ替え可能に思えます。 更に、ご提案の訳は、対応国際規格とは異なる訳になっています。「対応する AI システムのタイプ」という訳は、ある性質の種類があり、その性質を持つ AI システムを指しますが、対応国際規格は、ある性質を AI システムがもっており、その一つという記載になっています。 以上から、ご指摘の修正は不要と考えます。
伊藤 4	196	3.1.14	注釈 2	te	「AGI は、…システムを意味している。」とあるが、この文だと AGI は常に人間が実行可能である全ての作業も実行可能なように読めてしまうのではないか。	注釈 2 に下記のように「その場合、」と限定を入れる。 AGI は、より強い意味で使用されることが多く、その場合、多種多様な作業を実行可能であるだけでなく、人間が実行可能である全ての作業も実行可能であるシステムを意味する。	修正なしとします。理由は次のとおりです。 AGI は、常に人間が実行可能な全ての作業を実行可能とすることを意図した用語であり、そのように定義されている「強い AI」です。「その場合」を挿入して意味を弱めることは、この対応国際規格の意図に沿いません。 以上から、修正は不要と考えます。
伊藤 5	247	3.1.24	定義	ed	定義が「タイプ」で終わっているが、「定義は、文脈上、用語に置換できる形式で記述されなければならない」という Directives の指示に適合しないのではないか。	定義を下記のように修正する。	修正なしとします。 これも、3.1.14 と同様に、Directives 違反とは考えられません。文法的には

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
						特定の問題に対応するために定義された作業 (3.1.35) に焦点を当てるタイプの AI システム (3.1.4)	noun であり、かつ、置換して意味的にも通じると思います。頂いた修正案では、3.1.14 と同様に、意味が変わってしまいます。 したがって、修正は不要と考えます。
伊藤 6	320	3.2.2	定義	te	原文では「process in which data is examined …」だが訳文に「データ」という言葉が入っており、適切な翻訳になっていないのではないかと。	定義を下記のように修正する。 AI システム (3.1.4) の有用性に影響を与える完全性、バイアス、及び他の要因についてデータを調べる処理	ご指摘のとおり「データ」が抜けていました。 また、which affects its usefulness for an AI system の its の参照先の解釈として、its が単数であることから、文法的には、先行する data を指すと解釈するのが自然と考えます。「AI システムの有用性」は誤訳かと思えます。 そこで、次のとおりに修正します。 「AI システムに対するデータの有用性に影響を与える完全性、バイアス、その他の要因についてデータを調べる処理」
伊藤 7	328	3.2.4	注釈 1	ed	原文の will は、こうなってほしいという願望が込められていると読み取れるが、訳文には表現されていないのではないかと。	注釈 1 を下記のように修正する。 データサンプルの部分集合がより大きなデータセット (3.2.5) を代表することが理想的である。	ご指摘を受けて次のように修正します。 「理想的には、データサンプルのサブセットは、より大きなデータセット

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							(3.2.5) を代表するものである。」
石井 2	732 733	5 AI 概念 /5.1 一般		te	AI の特徴のひとつとして“オーバーサイト”が挙げられているが、特徴なのか？ 説明文から何が特徴なのか分かり難い。	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なレベルで人による監視を必要とするまたは利用可能である、という意味か？ ・AI システムが外界を監視する機能を有する、という意味か？ ・監視した結果を入力として利用可能である、という意味か？ 	<p>ここで AI の特徴として挙げているのは、AI が様々なレベルで人的オーバーサイト及び制御を受けながら、運用することが可能であるということです。</p> <p>説明文が分かりにくいので、次のように修正します</p> <p>「AI は、アプリケーションに応じて、様々なレベルで人的オーバーサイト及び制御を受けながら、運用することが可能である。」</p>
石井 3	734 735	5 AI 概念 /5.1 一般		te	AI の特徴としての「適用性」の説明が分かり難い。	<p>「・・・ように設計されており、新しいデータに基づいて、運用を更新するために再訓練する。」とあるが、</p> <p>「・・・ように設計されており、新しいデータに基づいて再訓練し、運用を更新できる。」とした方が特徴の説明として分かり易いのではないか？</p>	<p>文全体を見直し、次のように修正します。</p> <p>「AI システムの中には、リアルタイムで動的なデータを活用し、新しいデータに基づいて運用を更新する再訓練を行うように設計されているものがある。」</p>
伊藤 8	735	5.1	本文	ed	「運用を更新」という表記があるが、全体的には「アップデート」と表記していることが多いようである。特に「モデルをアップデート」はよく使われているが、5.11.9.2 の 981 行の段落ではモデルにも「更新」という言葉を使っている。混乱するため統一すべきではないか。	文書全体として"update"の訳語を「アップデート」または「更新」に統一する。	update の訳語は「アップデート」に統一します。
伊藤 9	1015	5.12.1.1	段落	ed	ニューラルネットワークを NN と表記することもあって、表記が混在していて読みにくい。特にアーキテクチャと共に、「ニューラルネットワークのアーキテクチャ」と「ニューラルネットワーク	箇条タイトルも含め、「NN アーキテクチャ」を「ニューラルネットワークアーキテクチャ」または「ニューラルネットワーク(NN)アーキテクチャ」に変更する。	「NN アーキテクチャ」は「ニューラルネットワーク(NN) アーキテクチャ」に修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2023-05-25	規格番号: JIX X22989	プロジェクト:
----------------	------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					アーキテクチャ」と「NN アーキテクチャ」の混在はさらに読みにくい(別物かのような誤解を与える)のではないか。		

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付: 2023.05.19	規格番号: C5750-3-4	プロジェクト:
----------------	-----------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渡邊 1	1432		表 D.1	ed	「影響要因」の「要」が枠からはみ出ている。	適切に改行する等ではみ出ないように調整する。	修正いたします。

以上

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。